

# ルシート防水工事

## 施工要領書

K S - A R 工 法  
(改修工法)

株式会社 総建社

〒 130-0013  
東京都墨田区錦糸4-10-2  
TEL 03-6685-8510  
FAX 03-6685-8512

# OKS-A.R工法（店舗等の改修工法）

## ○適用条件

本工法は、デパートやレストラン、ファーストフード店、スーパーマーケットや飲食店の厨房等の、の改修防水工事に適用し、既存内装材撤去後の下地処理から弊社がお引き受けする工法です。

### 1. 下地条件

K S - A R 工法の施工に際しては次の点にご注意下さい。

- ①床面にPタイルや塩ビシート、ゴムシート等が貼ってある場合は全て撤去して下さい。
- ②床面が塗り床の場合は全て撤去して下さい。
- ③防水範囲の壁面に石膏ボード等が貼ってある場合は撤去して躯体を表に出す様にして下さい。（石膏ボード等にはVシートは施工できません）
- ④防水範囲中の既存配管の内、不要な物は全て下地と面一で切断しておいて下さい。
- ⑤コンクリートブロックで間仕切りをする場合、ブロックの表面はモルタルで均すと共に、目地や切り付け部は隙間の無い様に埋め、表面は平滑に仕上げて下さい。  
また、シートをブロックの天端に巻き上げる場合は、天端の穴もモルタルで埋め、天端表面も同様にモルタルで平滑に仕上げて下さい。

### 2. 下地点検、清掃及び調整

防水工事の施工に入る前に、前記作業が適切に行われているかを確認・点検します。  
その際、防水工事に支障となるレイターンスがあれば取り除きます。  
また、ドレンやパイプ、グリストラップなどに付着したモルタルや汚れを取り除いて清掃した後、レイターンスを除去した場所はモルタルで下地調整を行います。

### 3. 施工

#### (1) 下地処理

##### ①塗膜防水材による役物処理及び下地処理

出入隅々部、パイプの根元、ドレンの下皿、グリストラップのフランジ、打継部等に塗膜防水材を補強塗りします。  
(グリストラップのフランジはサンドペーパー等で目荒らしを行ってから塗布します。)  
パイプ周りはパイプ、下地双方に巾50mm以上塗りかけます。  
打継部は継目を中心にして巾100mm以上塗布します。  
また、鉄製下地や木質下地が混在する場合は、塗膜防水材で下地処理を行います。  
既存内装材撤去後の下地において接着剤などの残滓がある場合には、ケレンなどで出来る限り除去・平滑にした後、全面に塗膜防水材を塗布します。

##### ②プライマー塗布

塗膜防水材で処理する必要のない下地(新規に打設したコンクリート、モルタル、既存下地で接着剤の残滓等の付着が無い部分)の表面にプライマーを塗布します。  
塗膜防水材で処理した下地にはプライマーの塗布は不要です。  
通常の下地に於いては以下の通り使用します。

・立上り

　Vシートプライマー原液1：水2にて希釈し、1回塗りとします。  
下地の吸水が激しい場合は、乾燥後塗り重ねます。  
コンクリートブロックの場合は2回塗りとします。

・床面

　Vシートプライマー原液1：水3にて希釈し、2回塗りとします。  
下地の吸水が激しい場合は、乾燥後塗り重ねます。

(2) シート施工

① Vシートポリマーセメントペースト（以下VPセメントペースト）の調合

・配合

　ポルトランドセメント1袋（25kg）：水9～12㍑：Vシートプライマー原液0.7kg

・調合手順

　調合容器に、セメント1袋当たり8～9㍑の水を入れ、Vシートプライマー原液0.7kgを加えます。

　ハンドミキサー等で攪拌しながらセメントを投入し、ダマが無くなるまで充分に攪拌します。  
その後3～4分放置します。（締まって硬くなる）

　再度適量の水を加えて攪拌し、適度な硬さに調整して使用材とします。

※冬季において気温が5°C以下になると予想される場合は防凍剤を使用します。

② Vシート施工

・立上り

　VPセメントペーストを施工面に金ゴテで厚み4mm程度に塗りつけます。  
Vシートを貼り付け、エア抜きブラシ又は手でVシートとVPセメントペースト間のエアを抜きます。  
その際にエアと一緒にVPセメントペーストが適量はみ出るようにながら抜いて行きます。  
はみ出たVPセメントペーストはコテで均しておきます。  
Vシート同士のジョイントは、幅150mm以上でオーバーラップさせ、VPセメントペーストで貼り合わせます。  
立ち上がりのシート貼りの作業中、役物・出隅隅角部等必要箇所には補助・補強貼りを行います。（収まり図等詳細はKS-A1工法の施工要領書をご参照下さい。）

・床面

　施工面にVPセメントペーストを金ゴテで厚み4mm程度に均します。  
予め逆巻きしておいたVシートのロールを転ろがして、VPセメントペーストを押しのける様にながら貼り付けます。  
VPセメントペーストを均していない所まで転がしたら、再びVPセメントペーストをコテで均し、以下同様に繰り返しながら貼って行きます。  
1スパン貼り終えたら、エア抜きブラシを用いてエアを抜いて行きます。  
この際も適量のVPセメントペーストがエアと一緒にはみ出す様ににながら抜いて行きます。  
Vシート同士のジョイントは立ち上がりと同様とします。

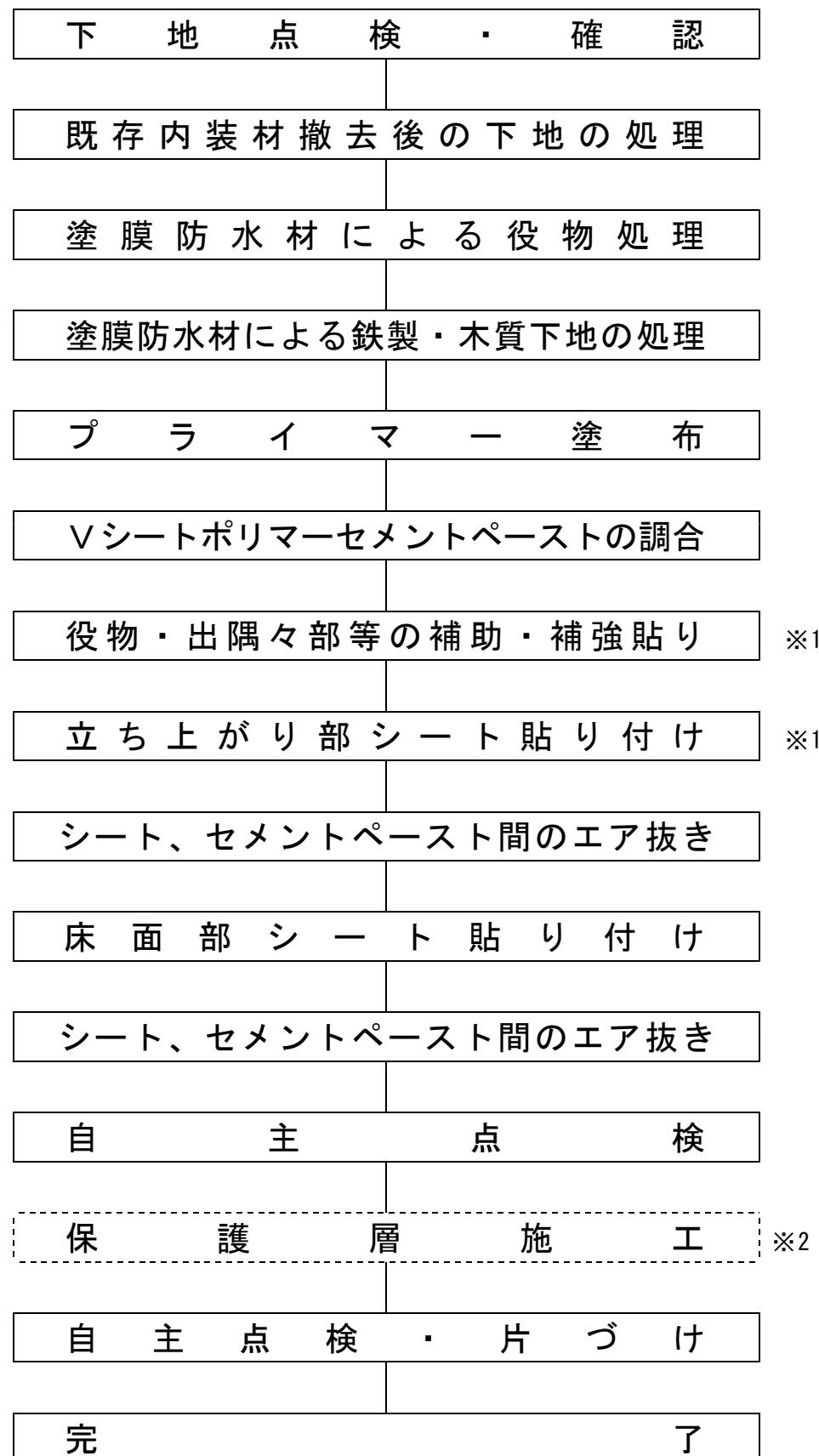
### 3. 施行後の注意事項

- ・Vシートの施工後は、12時間以上（冬季防凍剤使用）の硬化養生期間を置いて下さい。
- ・その間は立入り禁止とし、絶対にシートの上を歩いたり、物を乗せたりしないで下さい。
- ・養生期間経過後も、保護層の施工が完了するまでは立入り禁止とし、重量物や鋭利な物、資機材等を置かないで下さい。
- ・モルタル、コンクリート打設時にスコップ等でVシート表面をこすったり、つづいたりしないで下さい。
- ・これらの他にも、Vシートを傷付ける様な行為は厳禁です。

★Vシートを傷付けると漏水事故につながる可能性がありますから充分な注意が必要です。

※止むを得ずダメ残しとなる場合は、次回施工時にシートをオーバーラップさせる分（巾300mm程度）には保護層を施工しないで下さい。また、汚れたり傷が付いたりしない様、充分に養生してください。

○ Vシート湿式防水KS-A R工法施工フローチャート



※1 補助・補強貼りと立ち上がり部のシート貼りは作業の流れにより順序が前後します。

※2 保護層施工は原則建築工事となりますですが、ご要望により軽量モルタルによる施工もお請け致します。(別料金)

## ○資料のページ (標準工法の施工要領書より抜粋)

### 1. 下地条件

#### ①ドレーン

- ・ドレーンは必ずシート防水用を使用し、下地レベルと面一での同時打ち込みが理想的です。  
(モルタル防水用ドレーンは絶対に不可。施工できません。)  
止むを得ず後付けとする場合は堅固に固定し、周囲に隙間が出来ない様モルタルを詰め、排水管を接続して固定しておいて下さい。
- ・オーバーフロー管を設置する場合は鋼管又は塩ビ管を使用し、防水面より50mm以上突出させて堅固に固定しておいて下さい。

#### ②配 管

- ・防水層を貫通する様な配管は避けるのが理想ですが、やむを得ず行う場合は堅固に取り付けて下さい。  
コンクリートブロックによる間仕切りに配管を貫通させる場合には、出来るだけ高い位置とし、必ずサヤ管を使用して堅固に固定して下さい
- ・塩ビ管、鉛管、銅管、システム配管、コルゲート管等、動きが大きく、変形しやすい配管類を貫通させる場合は必ずサヤ管を使用し、堅固に固定して下さい。  
また、鉛管、銅管等で、配管後にロウ付け等加熱を伴う作業を行う場合は熱がサヤ管に伝わらない様にして下さい。
- ・サヤ管は、何れの場合も防水面から50mm以上突き出る様に設置して下さい。

#### ③その他

- ・セメント以外の材質の下地（鉄板、木材等）が混在する場合は、変形しない様、充分な厚みのある材料を使用して堅固に取り付けて下さい。

※上記の条件は、いずれも漏水事故を未然に防ぐ為に必要な事項です。

合致しない場合はお手数でも施工までに改善措置を取ってください。

## 2. 施工厚み

- ・Vシート防水の施工厚みはジョイント部分の最大厚で15mm程度となります。
- また、補強貼りが必要となる部分（役物周りや出隅の隅角部分など）では25mm程度となります。
- タイル下地や巾木に仕上げる場合等は御注意下さい。

## 3. 材料について

### ①使用材料一覧

品名	商品名	規格・容量	メーク
普通ポルトランドセメント <sup>※1</sup>		25kg袋	市販品
プライマー	Vシートプライマー	18kg缶	ケイエス防水工業(株)
塗膜防水材 <sup>※2</sup>	セラミテックスコート	18kg缶・14kg箱	ベスト合成化学工業(株)
	レインガード	18kg缶・14kg箱	高圧ガス工業(株)
防水シート	Vシート	1,000mm巾×50m巻	ケイエス防水工業(株)

※1 セメントについては建設会社様からの支給をお願いしております。(その方が単価が安い為)  
セメント1袋(25kg)当たりの施工量は、通常約6m<sup>2</sup>となります。

施工総面積100m<sup>2</sup>の場合の必要量は $100 \div 6 = 16.6$ で17袋となります。(端数切上げ、状況により増減あり)

※2 セラミテックスコート・レインガードのどちらかを使用(何れも同等品)

### ②配合と使用量

- ・プライマー  
Vシートプライマー原液 1kg : 水 2~3kg 塗布量 0.2 kg/m<sup>2</sup>
- ・塗膜防水材  
樹脂 9kg : パウダー 7kg : 水 0~2kg 塗布量 0.4 kg/m<sup>2</sup>
- ・Vシートポリマーセメントペースト  
セメント 25kg : 水 9~12kg : Vシートプライマー原液 0.7kg 塗布量 6.0 kg/m<sup>2</sup>

クラック処理

Vシート本貼り（一層）

水和凝固型塗膜防水剤補強塗り

下地

クラック

研り跡処理  
モルタル補修

モルタル補修

研り跡

不要配管処理納まり図

Vシート本貼り（二層）

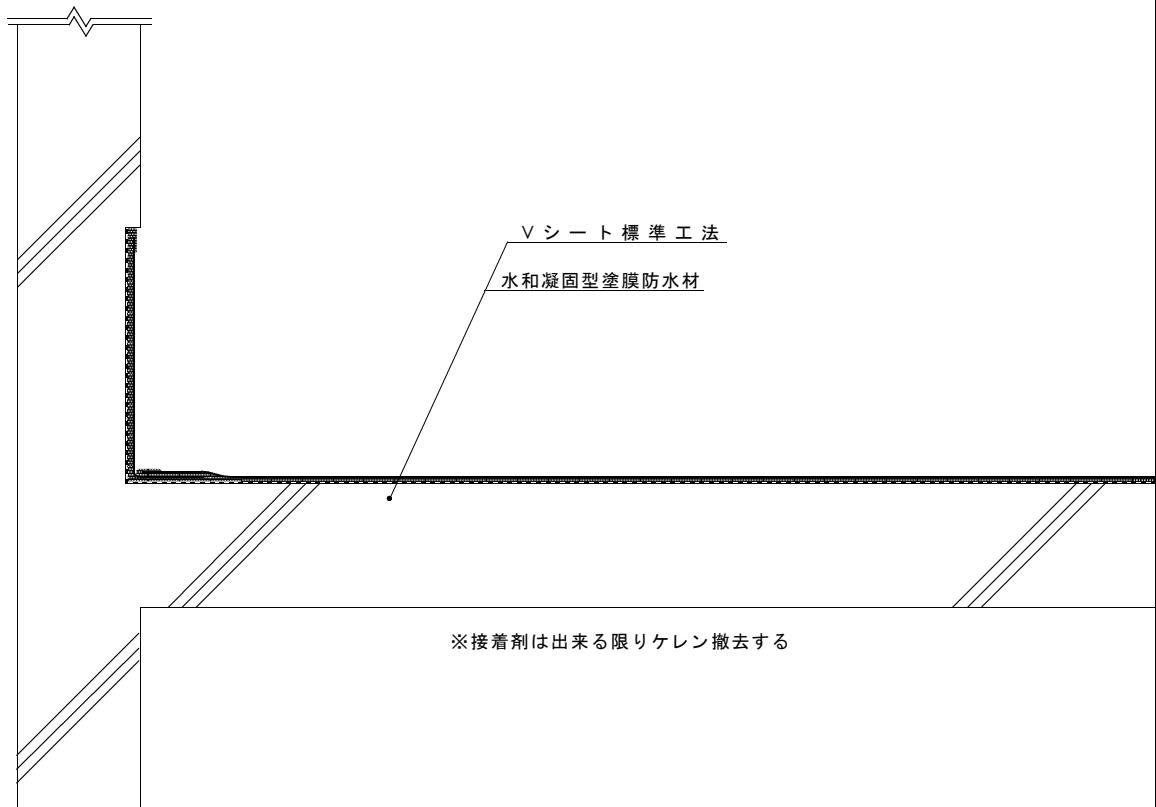
Vシート補強貼り（一層）

水和凝固型塗膜防水剤補強塗り

モルタル詰め

落下防止措置

## KS-A-R工法 Pタイル、長尺シート等撤去後処理



## KS-A-R工法施工図

ケイエス防水工業株式会社

